

活動報告

村田町地域おこし協力隊 菊池佐也果

○クラフトバック作りの様子

自分の好きな色を組み合わせたり、柄のクラフトを混ぜたり…
無限の組み合わせがありできるまで分からないのが、また楽しい！
それぞれの個性が出てくる、どれも素敵な作品となります。



町内の方々と集まり、作り方を教えていただきながらは
じめは、小物入れを作成しました。ひとつひとつ丁寧に
教えていただきながらなんとか完成させることができました～！
皆さんとても器用で完成まであっという間に進
んでいきました。また配色のセンスがどなたも抜群でど
れも素敵に仕上がっていました。また、みなでお喋り
をしながら楽しく作ることができたのもとてもいい時間
となりました。コロナ禍ということもありますので定期的
には集まれていないですが、また近いうちにまた集ま
りたいと思っています。



令和4年10月 3～4日

○県庁でクラフトバックを初販売しました！

宮城県内の地域おこし協力隊が集まるイベントに村田町として出店。
クラフトバックは初お披露目でたくさんの方に購入いただきました。

宮城県庁1階ロビーで、10月3、4日の2日間で「第一回みやぎ地域おこし協力隊フェス」が開催されました。宮城県内の地域おこし協力隊が集まり、各地域で活躍されている協力隊が各々に出店し、活動紹介をはじめ、物品販売を行いました。そんなイベントに今回、地域のおばあちゃんが作るクラフトバックを初お披露目として試験的に販売を行いました。この日の為に一生懸命にクラフトバック作りに励んで頂いた地域の方々のお陰で売れ行きは上々でいいスタートを切ることができました！たくさんの応援のお声もいただき、村田町の地場産品となっていくますように、地域の方々と連携して進めていきたいと思っています。



令和4年10月29・30日

○ザ・モール仙台長町【村田町物産展】にてクラフトバック販売！

多くの方に向けてPRのできる貴重な機会となりました！
年齢層も幅広い方々から手に取っていただき、
皆さん口を揃えて可愛い、素敵とのお声をいただきました。

ザ・モール仙台長町本館1階の中央正面入り口の催事会場にて、東北特殊鋼様とのコラボで「村田町物産展」を2日間開催いたしました。村田町の特産品、工芸品が並ぶ一角に今回クラフトバックも一緒に販売させていただくことができました。クラフトバックは紙でできていますが、クオリティが高いことから竹や木できていると勘違いされる方もいて、「完成度が高い。」と感心されておりました。年中販売できることを目指し今回アースカラー中心に展示させていただきましたが、どれも反応も良く数個のまとめ買いをされていくお客様もいるほど好評いただきました。



○空き蔵の大掃除「蔵の再生プロジェクト」

震災後から使われることなく、10年以上放置されていた蔵を、地域おこし協力隊で綺麗に使える状態にしよう！という
ことで蔵の大掃除が始まりました。

再生後はイベント、ワークショップ、地域の方々の集いの場
など多くの方に利用してもらえるようにと思いを入れて掃除
を行いました。

昔の掃除の知恵なども教わりながら、丁寧に掃除をしました。
現在ではイベント、地域の方々にも何かあるたびに利用する
場所となっていました。



○陶器市写真展を開催！

コロナ禍で3年ほど開催できていない村田町の大イベントでもある
『蔵の陶器市』。

町内の方々の残念に思う声を聞き、少しでも力になりたいと思い蔵
わらし、観光物産協会、町内の方々のご協力の元現在は使われてい
ない空き蔵を利用しながらの「陶器市写真展」を開催することがで
きました。

たくさんの方々のご協力で叶ったイベントで地域の方々との交流に
もなり、私にとっていい思い出にもなりました！



○東京野菜販売

月1回～多い月で3回。定期的に村田町の新鮮野菜を東京へ郵送し、ミニ八百屋さんを出店！

八百屋さんがどんどんと閉店してきている東京では、東北の美味しい野菜が手に入ると口コミで広がり、あっという間に完売します。リピーターも増え、到着前に野菜を予約していく方も、、、。

口を揃えて「村田のお野菜美味しいね」と言っていました。

村田町のPRにもなり、東京の方に村田町を知っていただけるきっかけにもなりました。



○村田の美味しい漬物詰め合わせセットの販売

村田道の駅で販売している漬物。

農家さんの手作りで丁寧に作られた漬物の詰め合わせを提案し、東北特殊鋼のカatalogギフトに掲載していただきました。

村田町へ移住してから私も何度もリピートして食べていたファンも多いおいしい漬物です。

より多くの方に知ってもらえるきっかけ作りをでき、微々たる貢献ができた事はとても嬉しかったです。



○農業体験

農業が盛んな村田町、移住したらしてみたかったことの一つでもあった農業。実際に携わりお手伝いをする中で農業の楽しさ、大変さ、収穫した時の喜びなど多くの事を学ぶことができました。東京への野菜販売をしようと思ったきっかけにもなった農業体験、高齢化が進み後継者がいないという厳しい現状も知り、活動の中でも力を入れて取り組んだことのひとつでもありました。



○紅花収穫

かつて紅花で栄えた村田町では、現在も毎年紅花を作っている農家さんがいます。村田町の小、中学校では毎年紅花の植えから収穫までを授業で行っています。

私も一から教わり、収穫までの体験をさせて頂きました。

手間暇かけ元気に育っていく紅花、天気の良い青空の下黄色い花を咲かせる紅花の姿を見た時はとても感動しました。

乾燥した紅花は、漢方として古くから婦人薬として利用したり、天然色素として和菓子や漬物などにも使われています。



最後に...



オーストラリアでの留学を通して新たな目標が見つかり、地域おこし協力隊というお仕事を通して「今自分に何ができるのか」、「何が地域の方に喜ばれることなのか」を模索し活動をしてきました。

時には辛く苦しい時もありましたが、そんな中でも地域の方々に助けられながら、自分なりに精一杯の活動ができたと思っています。

この仕事を通してたくさんの素敵な方々と出会い、刺激も沢山頂いたこの2年間は私の生涯の宝となり、何にも変えられない大切な思い出となりました。不安の中、村田町に移住してきましたが突然来た私を優しく受け入れてくださった地域の方々、村田町役場の方々が居たからこそ精一杯の活動ができたのだと思っています。

村田町での貴重な経験を今後の人生の中でもしっかりと生かしていきたいと思います。

2年間という短い間ではありましたが、その時間以上の経験ができたと思っています。今までお世話になった皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

菊池 佐也果